



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社マネーパートナーズグループ

上場取引所 東

コード番号 8732 URL <http://www.moneypartners-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥山 泰全

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 中西 典彦

TEL 03-4540-3804

四半期報告書提出予定日 平成26年1月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,891	△11.2	3,841	△10.8	791	635.9	787	794.7	463	—
25年3月期第3四半期	4,381	△25.4	4,306	△25.1	107	△74.4	87	△78.2	△28	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 461百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	15.35	15.30
25年3月期第3四半期	△0.96	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	62,535	10,088	16.1	333.70
25年3月期	54,944	9,733	17.7	322.69

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,081百万円 25年3月期 9,727百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
26年3月期	—	300.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当予想は、「3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)」と同様の理由により開示を行っておりません。

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。26年3月期第2四半期末までの配当金は、当該株式分割前の配当額を記載しております。

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社グループは、金融商品取引業(外国為替証拠金取引業)を営んでおり、当社グループの業績は相場動向や市場流動性等のマーケット環境並びに国内及び海外の経済環境等からの影響を大きく受け予測が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。その代替として、営業収益及び業績に大きく影響を与える外国為替取引高や顧客口座数等の営業指標を月次概況として開示しております。また、業績に大きく影響を与える販売費・一般管理費の動向について、平成26年2月4日公表予定の決算補足説明資料にて補足いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	32,214,000 株	25年3月期	32,148,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,002,300 株	25年3月期	2,002,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	30,169,722 株	25年3月期3Q	30,145,700 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は第2四半期末及び期末を基準日として剰余金の配当を行うことを基本方針としており、業績に応じて連結当期純利益の30%を配当性向の目処としております。なお、配当予想額は開示可能となった時点で速やかに開示する予定であります。

当社は平成26年2月4日に機関投資家向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料については、同日、東京証券取引所「適時開示情報閲覧サービス」及び当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出環境の改善や経済政策、金融政策の効果などを背景に回復が確かなものになりつつあります。企業部門においては、生産が緩やかに増加しており、企業収益も大企業を中心に改善しています。一方、家計部門においては、雇用情勢が改善し、実質雇用者所得も底堅く推移していることから個人消費は増加しています。先行きについては、景気の回復基調が続くことが期待される一方、依然として海外景気の下振れが、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

外国為替市場においては、米ドル/円相場は、期首は1ドル=94円台前半で取引が始まり、4月の日銀金融政策決定会合での追加緩和策の発表、その後の米国各種経済指標の堅調さや米国量的金融緩和の縮小期待等を背景にドル高円安基調で相場が推移し、5月下旬には103円台後半の高値をつけました。ところが、5月23日の株式市場の急落をきっかけにリスク回避の動きが強まると、一転して円が買われ、6月中旬には93円台後半の安値をつけました。その後、量的金融緩和縮小の時期を巡る思惑が交錯する中、相場の方向感が不透明になったことから、高値を7月の101円台半ば、安値を8月の95円台後半とする持ち合い相場となりました。11月に入ると、堅調な米国各種経済指標を背景にドル高円安基調での相場推移となり、12月にはFOMCにおいて量的金融緩和の縮小が決定されると約5年ぶりの高値となる105円台前半をつけて期末を迎えました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、概ねユーロは円に対して強く、豪ドルは円に対して弱い動きとなったものの、米ドル/円も含めた相場全体の変動率は4月から6月にかけて高い水準を示した後、持ち合い相場となった影響もあり、7月以降右肩下がりに低下して期末を迎えました。

このような状況の中、当社グループは、外国為替証拠金取引サービスにおいて、スマートフォンからの取引が急速に増加しつつあることに対応し、顧客利便性の向上のためスマートフォン対応取引ツールである「HyperSpeed Touch」の機能改善を実施いたしました。また、初心者、ライトユーザー向け商品である「パートナーズFX nano」について、パソコンからの取引ツール「クイック発注ボード」及びスマートフォン対応取引ツール

「HyperSpeed Touch nano」の新規提供や取引数量制限の緩和等大幅な商品性の改善を実施いたしました。更に、当社グループのユニークなサービスである「外貨両替・受取サービス」について、受取拠点として従来の成田国際空港、関西国際空港に加え、新たに羽田空港及び中部国際空港（セントレア）を追加し、同業他社とのサービスの差別化を図ってまいりました。また、営業面では、各種キャンペーンなどにより顧客層の拡大と外国為替証拠金取引への導線の構築に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の外国為替取引高は1兆2,584億通貨単位（前年同四半期比54.9%増）となりました。また、当第3四半期連結会計期間末の顧客口座数は230,717口座（前年同四半期末比22,858口座増）、顧客預り証拠金は43,797百万円（同4.5%増）、有価証券による預り資産額は3,493百万円（同47.4%増）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、外国為替取引高の大幅な増加の一方、相対的に取引高当たり収益率の低い米ドル/円の取引高割合が大幅に増加したこと等の要因により取引高当たり収益率が低下した結果3,891百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。一方、営業利益は、大口金融法人顧客に対する外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供が前期末に終了したことに伴い取引関係費が大幅に減少したこと等により791百万円（同635.9%増）となり、経常利益は787百万円（同794.7%増）、四半期純利益は463百万円（前年同四半期は四半期純損失28百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、「パートナーズFX nano」の商品性リニューアル等に伴うソフトウェア及びネットワーク関連ハードウェアの更新に伴う器具備品の除却を実施し、25百万円の固定資産除却損を計上しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の変動)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して7,591百万円増加し、62,535百万円となりました。これは主に流動資産が7,971百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して7,235百万円増加し、52,446百万円となりました。これは主に流動負債が7,366百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して355百万円増加し、10,088百万円となりました。

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における主な流動資産の内訳は、預託金42,492百万円、トレーディング商品(資産)7,595百万円、現金・預金6,953百万円及び短期差入保証金3,053百万円であります。前連結会計年度末と比較して、現金・預金の増加1,176百万円、顧客から外国為替証拠金取引の証拠金として預託された金銭の増加等に伴う顧客区分管理信託を中心とする預託金の増加4,715百万円、年末年始の外国為替証拠金取引に備えてのカウンターパーティへの差入保証金積み増しによる短期差入保証金の増加1,055百万円、顧客を相手方とする未決済の外国為替証拠金取引に係る評価益の増加等に伴うトレーディング商品(資産)の増加973百万円等により7,971百万円増加しております。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における主な固定資産の内訳は、リース資産655百万円、長期差入保証金382百万円、ソフトウェア360百万円及び投資有価証券198百万円であります。前連結会計年度末と比較して、外国為替取引システムの機能追加等によるソフトウェアや長期前払費用等の増加があった一方、ソフトウェア等の減価償却、投資有価証券の売却、「パートナーズFXnano」の商品性リニューアルに伴うソフトウェア及びネットワーク関連ハードウェアの更新に伴う器具備品の除却等の減少により380百万円減少しております。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における主な流動負債の内訳は、受入保証金43,797百万円、トレーディング商品(負債)4,309百万円、未払費用1,514百万円及び短期借入金1,100百万円であります。前連結会計年度末と比較して、顧客からの預り資産の増加に伴う受入保証金の増加4,475百万円、顧客を相手方とする未決済の外国為替証拠金取引に係る評価損の増加等に伴うトレーディング商品(負債)の増加1,297百万円及び年末年始の外国為替証拠金取引に備えての短期借入金の増加1,100百万円等により7,366百万円増加しております。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における主な固定負債の内訳は、リース債務486百万円であります。前連結会計年度末と比較して、リース債務の返済等により131百万円減少しております。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における主な純資産の内訳は、資本金1,792百万円、資本剰余金1,869百万円、利益剰余金7,275百万円、自己株式△860百万円であります。前連結会計年度末と比較して、四半期純利益による利益剰余金の増加463百万円等があった一方、剰余金の配当による利益剰余金の減少120百万円があったこと等により355百万円増加しております。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により334百万円増加、投資活動により23百万円減少、財務活動により865百万円増加いたしました。この結果、資金は前連結会計年度末に比べ1,176百万円の増加となり、当第3四半期連結会計期間末における資金の残高は5,273百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は334百万円(前年同四半期は1,204百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の計上765百万円、減価償却費の計上333百万円、固定資産除却損の計上25百万円及びその他の流動資産の減少額98百万円等の資金増加要因があった一方、年末年始の外国為替証拠金取引に備えてのカウンターパーティへの差入保証金の積み増し等により外国為替取引関連の資産負債が差引941百万円の資金減少要因となったことに加え、法人税等の支払額63百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は23百万円(前年同四半期は24百万円の支出)となりました。これは、投資有価証券の売却による収入68百万円及び投資事業組合からの分配による収入20百万円等があった一方、外国為替取引システムの機能追加等のため、無形固定資産43百万円、長期前払費用39百万円の取得による支出及び投資有価証券の取得による支出19百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は865百万円（前年同四半期は374百万円の収入）となりました。これは、外国為替証拠金取引の決済等に備えるための短期借入れによる収入3,100百万円及び株式の発行による収入12百万円があった一方、短期借入金の返済による支出2,000百万円、リース債務の返済による支出129百万円及び配当金の支払額117百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、金融商品取引業（外国為替証拠金取引業）を営んでおり、当社グループの業績は相場動向や市場流動性等のマーケット環境並びに国内及び海外の経済環境等からの影響を大きく受け予測が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益及び業績に大きく影響を与える外国為替取引高や顧客口座数等の営業指標を月次概況として開示しております。また、業績に大きく影響を与える販売費・一般管理費の動向について、平成26年2月4日公表予定の決算補足説明資料にて補足いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	5,776	6,953
預託金	37,777	42,492
顧客分別金信託	160	200
顧客区分管理信託	37,434	42,095
その他の預託金	183	197
トレーディング商品	6,622	7,595
デリバティブ取引	6,622	7,595
約定見返勘定	—	186
短期差入保証金	1,997	3,053
先物取引差入証拠金	271	320
外国為替差入証拠金	1,726	2,732
有価証券	5	10
前払金	0	—
前払費用	73	46
未収入金	157	109
未収収益	114	120
外国為替取引未収収益	105	116
その他の未収収益	8	3
繰延税金資産	14	40
その他の流動資産	179	81
貸倒引当金	△1	△1
流動資産計	52,717	60,689
固定資産		
有形固定資産	107	93
建物	45	40
器具備品	62	52
無形固定資産	1,341	1,038
ソフトウェア	531	360
ソフトウェア仮勘定	18	18
商標権	3	3
リース資産	787	655
投資その他の資産	777	714
投資有価証券	269	198
長期差入保証金	383	382
長期前払費用	89	101
繰延税金資産	22	21
その他	11	10
固定資産計	2,227	1,846
資産合計	54,944	62,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	3,011	4,309
デリバティブ取引	3,011	4,309
約定見返勘定	332	317
預り金	164	240
顧客からの預り金	126	170
その他の預り金	37	70
受入保証金	39,321	43,797
外国為替受入証拠金	39,321	43,797
短期借入金	—	1,100
リース債務	172	174
未払金	188	165
未払費用	1,345	1,514
外国為替取引未払費用	1,178	1,381
その他の未払費用	166	133
未払法人税等	35	299
賞与引当金	18	39
その他の流動負債	0	0
流動負債計	44,591	51,958
固定負債		
リース債務	617	486
その他の固定負債	2	1
固定負債計	619	488
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	0	0
特別法上の準備金計	0	0
負債合計	45,211	52,446
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,786	1,792
資本剰余金	1,862	1,869
利益剰余金	6,933	7,275
自己株式	△860	△860
株主資本合計	9,721	10,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	4
その他の包括利益累計額合計	5	4
新株予約権	5	7
純資産合計	9,733	10,088
負債・純資産合計	54,944	62,535



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業収益		
受入手数料	10	7
委託手数料	1	2
外国為替取引手数料	1	2
その他の受入手数料	7	2
トレーディング損益	4,343	3,871
外国為替取引損益	4,343	3,871
金融収益	13	9
その他の売上高	14	3
営業収益計	4,381	3,891
金融費用	66	49
売上原価	8	0
純営業収益	4,306	3,841
販売費・一般管理費		
取引関係費	1,556	724
人件費	734	722
不動産関係費	654	455
事務費	749	733
減価償却費	417	333
租税公課	35	42
その他	50	38
販売費・一般管理費計	4,198	3,050
営業利益	107	791
営業外収益		
受取利息	2	2
投資事業組合運用益	—	6
未払配当金除斥益	1	1
貸倒引当金戻入額	2	0
賞与引当金戻入額	0	2
その他	2	1
営業外収益計	10	14
営業外費用		
株式交付費	—	0
上場関連費用	27	18
その他	2	0
営業外費用計	29	18
経常利益	87	787

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
特別利益計	—	3
特別損失		
金融商品取引責任準備金繰入れ	0	0
固定資産除却損	98	25
特別損失計	98	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△10	765
法人税、住民税及び事業税	7	326
法人税等調整額	10	△24
法人税等合計	18	302
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△28	463
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28	463

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△28	463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△1
その他の包括利益合計	0	△1
四半期包括利益	△28	461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28	461

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10	765
減価償却費	417	333
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	21
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	0	0
株式報酬費用	2	1
受取利息及び受取配当金	△15	△11
支払利息	66	49
株式交付費	—	0
投資事業組合運用損益(△は益)	2	△6
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3
固定資産除却損	98	25
預託金の増減額(△は増加)	△4,621	△4,715
トレーディング商品(資産)の増減額(△は増加)	△79	△973
約定見返勘定(資産)の増減額(△は増加)	△96	△186
短期差入保証金の増減額(△は増加)	1,457	△1,055
前払金の増減額(△は増加)	8	0
前払費用の増減額(△は増加)	16	5
未収入金の増減額(△は増加)	△36	48
未収収益の増減額(△は増加)	△44	△8
その他の流動資産の増減額(△は増加)	29	98
その他の固定資産の増減額(△は増加)	42	30
トレーディング商品(負債)の増減額(△は減少)	738	1,297
約定見返勘定(負債)の増減額(△は減少)	514	△15
預り金の増減額(△は減少)	14	76
受入保証金の増減額(△は減少)	2,894	4,475
未払金の増減額(△は減少)	△97	△9
未払費用の増減額(△は減少)	98	169
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1	△1
その他	3	△0
小計	1,383	410
利息及び配当金の受取額	17	13
利息の支払額	△43	△28
法人税等の支払額	△153	△63
法人税等の還付額	—	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,204	334

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23	△14
無形固定資産の取得による支出	△60	△43
投資有価証券の取得による支出	△3	△19
投資有価証券の売却による収入	—	68
投資有価証券の償還による収入	—	5
投資事業組合からの分配による収入	12	20
長期差入保証金の回収による収入	103	—
長期前払費用の取得による支出	△52	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,500	3,100
短期借入金の返済による支出	△1,000	△2,000
リース債務の返済による支出	△50	△129
株式の発行による収入	—	12
配当金の支払額	△75	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	374	865
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,554	1,176
現金及び現金同等物の期首残高	5,063	4,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,617	5,273

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。